

< 監察課によるいじめ対応状況 >

本市のいじめの認知件数

令和元年度	172件
令和2年度	169件
令和3年度(7月末時点)	55件

監察課に直接相談があった件数

令和元年度	55件 (うち、いじめ通報促進チラシ12件)
令和2年度	69件 (うち、いじめ通報促進チラシ21件)
令和3年度(7月末時点)	41件 (うち、いじめ通報促進チラシ21件)

監察課による対応事例

(事案1)

被害者Aはクラスメイトとクラスメイトの加害者B・C・Dは同じグループで行動を共にして仲が良いように見えていたが、加害者達はAが嫌がることを命令するなど、実際は主従関係にあり、Aは学校を休みがちになる。

(事案2)

加害者B・Cが共謀し、被害者Aに対し、クラスメイト同士で参加していたオンラインゲームでの登録を一方的に消したり、クラス内で加害者達から被害者Aに対し、暴言を吐くなどの状況が続き、Aは次第に学校に登校しなくなった。